

移住・定住の促進についての提言

本県の移住者は2年連続1,000人を超え増加傾向が見られる。今後も移住を増やすためには、幼少期から郷土愛を醸成すること、U・Iターンの制度について本県が行なっている多数の取り組みをアピールすること、そして、よりたくさんの方が利用できるように改良すること等が必要だと考える。また、本県の長所である教育の質の高さや充実した子育て環境を子育て世代や親世代にアピールすることも必要である。加えてU・Iターンに前向きな意識をもってもらうための財政的な支援も重要であると考えます。

そこで、移住・定住の促進に向け、以下の事項について提言する。

1 郷土愛の醸成

小さい頃から地元を好きになれるような取り組みを行っていただきたい。例えば、小学生の頃に福井の企業について調べたことを基に、福井での自分の将来について書く手紙を残し、タイムカプセルのように進路を考えるタイミングで返すなど、小さい頃から福井での将来を意識できるような取り組みが必要である。

2 親世代へのアプローチ

親世代へ、教育やUターンの制度を宣伝していただきたい。福井県で子育てすることによって子育て費用が安くなることや福井の教育がどこの都道府県よりも質が高いこと、優れたUターン制度があることを周知することにより、子どもに説得力を持った説明ができると考える。

3 福井県の魅力をPRする相談窓口の充実や移住支援策の拡充

首都圏のふくいUターンセンターにおける、相談員の養成、増員を提案する。今後、地域間での移住者獲得の競争が激しくなることが予想され、移住希望者に福井を選んでもらうためには、福井のことを良く知り、福井の良さを熱く語る相談員が重要と考える。

また、移住支援金の制度においては、国に対し、支援対象を拡充するよう要請いただきたい。

4 Uターンのための資格取得支援

福井県出身で県外の大学に進学し、就職活動を控えている大学生に就職支援の一環として、宅建士などの資格支援を実施することで、Uターンに前向きな気持ちになれるように財政面での支援を検討していただきたい。

5 移住・定住に結びつけるPR活動の強化

学生本人に対し、オンラインを活用し、県の優れた施策等をPRする活動を強化していただきたい。

令和4年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井県立高志高等学校
チーム「ひまわり」
木村和葉
西谷穂花
前田向葵
三田村睦美